

【児童用】自己評価シートの使い方

自己評価シートを使って、【ホップ】【ステップ】【ジャンプ】の順に学習を進めていくことで、学習した内容の理解度を自分で評価でき、理解度に合わせて取り組み方を選び、学習内容が今よりもっとわかるようになります。

自己評価シートを使った取り組み方

【ホップ: 自己評価をしよう】

- 自己評価する内容と教科書のページを開き、ページ初め※1の問題を読んだりノートに写したりしましょう。
- 必要に応じて、教科書に示してある吹き出しの言葉を参考にし、問題を解くためのヒントにしましょう。
- 問題を解き進め、その後、答えや解き方を教科書や授業中のノートを使って確かめましょう。

【自己評価の目安】

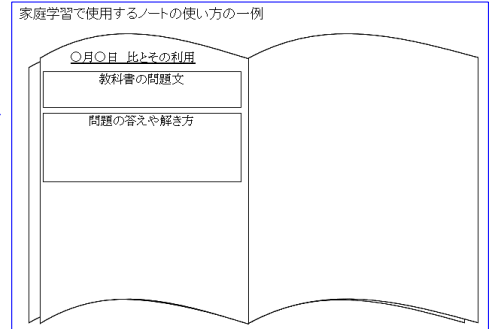
- 答えや解き方を確かめた後に、自己評価を行います。A、B、Cのどれかに○をつけます。
- A: 正解し、問題の解き方がわかった。
- B: 正解し、問題の解き方がだいたいわかったが、少しわからないところもあった。
- C: まちがった。正解したが、わからないところが多かった。

※1 ページの中や後ろの方から問題が始まる時もあります。

【ステップ: チェック問題を解こう】

- 自己評価A、Bの場合は、チェック問題に進みます。チェック問題がない場合もあります。そのときは、自己評価シートに示している教科書のページにある問題を解いたり、教科書の【まとめ】を書いたりしましょう。
- 自己評価Cの場合には、どこでまちがったのか、どこまでわかるのかをはっきりさせましょう。そして、家族や友達、先生に聞いたり、自分で教科書を読み直してポイントを整理したりしてわかったかどうかを確かめ、チェック問題に進みましょう。
- チェック問題に正解した場合は、自己評価シートのチェック問題の番号(①～)に色をぬりましょう。

ノートの使い方の例



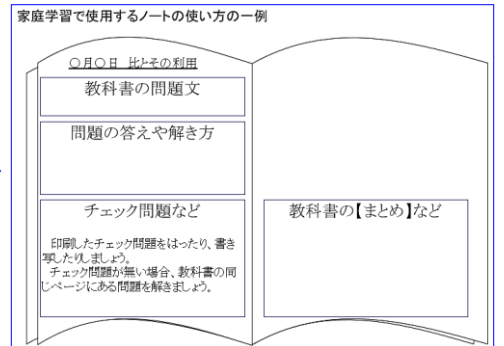
【比とその利用】

比の意味や表し方、等しい比の意味が分かり、二つの数量の関係を比で表したり、等しい比をつくらせてみるようになる。では、【比(〇)】、【比の値】という【算数用語や記号】が大切だ。

教科書を読み、問題を解いたりして自己評価する内容	【ホップ】		【ステップ】	チェック問題
	教科書ページ	家庭学習ページ	自己評価(理解度)	
比の意味と比を使った割合の表し方を理解すること	112-113	77-78	A B C	①
等しい比の意味や、比の値の意味を理解すること	114-115	79-81	A B C	②
等しい比の意味や値を基に、比を簡化する	116-117	82	A B C	③
いろいろな方法で小数の比や分数の比を簡単な整数の比にすること	118	83	A B C	④
比を使った割合の問題 比を基にして、一方の量からもう一方の量を求めること	120	84	A B C	⑤
全体を決まった比に分けたときのそれぞれの量を求めること	121	85	A B C	⑥

【右ページに記入する】
自己評価シートに記入する内容を、教科書の該当ページに記入する。

【左ページに記入する】
自己評価シートに記入する内容を、教科書の該当ページに記入する。



チェック問題は印刷したものをノートにはったり、印刷したプリントに直接書きこんだりして取り組みます。ここでは、切り取ってノートにはった方法を示しています。



【ジャンプ: 今よりもっとわかるように取り組もう】

- 「教科書会社の学習プリント」や「佐賀県教育センターの学習プリント」を解きます。答えも付いていますので、問題を解いた後に答え合わせをするようにしましょう。
- まちがった問題は、教科書で学び直したり、答えに解説が付いている場合は読んだりしましょう。そして、もう一度問題を解き直してみましょう。

